



91

しなやかな明日へ

第91回 2023(令和5)年度
全国盲学校弁論大会
全国大会

プログラム

●日時：2023(令和5)年10月6日(金) 9時10分～12時30分

●会場：秋田県立視覚支援学校 体育館

秋田市南ヶ丘一丁目1番1号 電話018-889-8571

◇JR「秋田駅」からタクシーで約15分

◇「遊学舎前」バス停から徒歩約15分

主催／全国盲学校長会
毎日新聞社点字毎日
毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団

主管校／秋田県立視覚支援学校

後援／文部科学省
秋田県教育委員会
NHK
日本点字図書館
日本ライトハウス
全国盲学校PTA連合会

(順不同)

協賛／一般財団法人 安全交通試験研究センター
日本点字図書館用具事業課
日本ライトハウス

(順不同)

特別協賛／住友グループ広報委員会 公文教育研究会

本事業は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)の共通目的基金の助成を受け実施されています。

第91回全国盲学校弁論大会全国大会

開 会 式

開 会

9:10

開会の言葉

毎日新聞社点字毎日編集長

濱井 良文

あいさつ

全国盲学校長会会長(東京都立文京盲学校校長)

山岸 直人

秋田県立視覚支援学校 校長

渡部 透

来賓祝辞

文部科学省初等中等教育局 特別支援教育課

特別支援教育調査官

森田 浩司

住友グループ広報委員会事務局長

長澤 修一

(住友商事株式会社 理事 広報部長)

来賓及び審査員紹介

弁論規定

弁 論

全国7地区代表9弁士

(関東・甲信越地区と開催地の東北地区からは各2人)

アトラクション

土崎港ばやし

土崎港ばやし保存港和会

閉 会 式

講評と成績発表

審査員長・明治大学、日本社会事業大学講師

堀越 喜晴

特別講評

作家

内館 牧子

表彰式

優 勝

文部科学大臣優勝旗 点字毎日杯 点字毎日盾

毎日新聞社会事業団杯 日本点字図書館杯 住友グループ杯

準優勝 点字毎日盾

第3位 点字毎日盾

特別賞 日本ライトハウス盾

優秀賞 全国盲学校長会会長賞 住友グループ個人賞

記念品 公文教育研究会

閉会の言葉

毎日新聞社点字毎日編集長

濱井 良文

閉 会

12:30

弁論

- 主管校最優秀賞受賞弁論 「私の声で届ける」
秋田県立視覚支援学校 高等部普通科3年 武藤 陽菜 (17)
1. 北海道地区代表 「もういちど」
北海道札幌視覚支援学校 高等部普通科2年 関本 航輝 (17)
2. 近畿地区代表 「無意識の壁」
大阪府立大阪南視覚支援学校 高等部普通科2年 酒井 響希 (17)
3. 九州地区代表 「『いのちの理由』と『感謝』」
長崎県立盲学校 高等部専攻科理療科3年 福浦 ひな子 (23)
4. 関東・甲信越地区代表 「おばあちゃんに感謝」
長野県松本盲学校 高等部普通科3年 清水 冴恭 (17)
5. 関東・甲信越地区代表 「青心～SEISHIN～」
筑波大学附属視覚特別支援学校 高等部専攻科理学療法科1年 渡辺 健 (20)
6. 東北地区代表 「見えずともわかる美しさ」
宮城県立視覚支援学校 中学部3年 加茂 太晟 (15)
7. 中部地区代表 「壁」
岐阜県立岐阜盲学校 高等部普通科3年 原 羽優真 (17)
8. 中国・四国地区代表 「努力から生まれた1位への道」
広島県立広島中央特別支援学校 中学部1年 濱田 美遙 (13)
9. 東北地区代表 「信頼と依存」
宮城県立視覚支援学校 高等部普通科3年 佐藤 殊菜 (18)

審査員 (敬称略、順不同)

明治大学、日本社会事業大学講師 〈審査員長〉	堀越 喜晴
秋田県教育庁 特別支援教育課長	熊谷 司
NHKメディア総局 第1制作センター(福祉) チーフ・プロデューサー	錦織 直人
毎日新聞大阪本社 編集局長	木戸 哲
住友グループ広報委員会 (NEC 経営企画部門 コーポレートコミュニケーション部)	池田 俊一
作家 〈特別審査員〉	内館 牧子

祝 全国盲学校弁論大会

第21回本間一夫記念 日本点字図書館チャリティコンサートのご案内
ほのカルテット with 澤 和樹 ~弦楽アンサンブルの愉しみ~

日時: 2023年10月28日(土) 午後2時(開場 午後1時15分予定)

会場: 東京文化会館小ホール

料金: 4,000円(全席自由)

■チケットのお求め・お問い合わせ

日本点字図書館 総務部総務課 TEL:03-3209-0241(代表)

Email:nitten@nittento.or.jp



特別審査員

作家 内館 牧子

1948年、秋田県生まれ。武蔵野美術大卒業後、会社員を経て1988年に脚本家デビュー。NHKの連続テレビ小説「ひらり」や、大河ドラマ「毛利元就」などの脚本を手がけ、数々のヒットを生み出した。小説やエッセーでも注目を集め、2022年にはベストセラー小説『老害の人』を世に送り出している。

2000年、女性で初めて(財)日本相撲協会の横綱審議委員会委員となり、5期10年務めた。2003年から東北大大学院修士課程で大相撲を研究し、2006年に修了。『女はなぜ土俵にあげられないのか』などの相撲関連の著作でも知られる。



アトラクション

土崎港ばやし 土崎港ばやし保存港和会

1947年結成。国重要無形民俗文化財であり、ユネスコ無形文化遺産に「山・鉾・屋台行事」の1つとして登録されている「土崎神明社祭の曳山行事」。毎年7月20日、21日に開催され、各町内から奉納される曳山の囃子櫓で演奏される「港ばやし」を保存・継承している最古の保存団体となる。

発足以来、曳山行事での演奏はもとより、各種イベントや舞台で演奏する他、地元小学校の港ばやしクラブで指導を行い、地域の伝統芸能を後世へ伝えるべく活動を続けている。



ヘレン・ケラー女史と
岩橋武夫(1937)

皆様のご健闘をお祈りします。

それぞれの学校や地区の弁論大会を経て、晴れてこの大会に臨まれるみなさんです。心おきなく磨きに磨かれた弁論を発表されますようお祈りします。日本ライトハウスの創立者岩橋武夫は、声はよくなかったようですが、その内容は聞く人の心に語りかけるという点で高く評価されたそうです。会場に皆さんの若い主張を高らかに響かせて下さい。

社会福祉法人 日本ライトハウス 理事長 橋本 照夫

視覚障害リハビリテーションセンター
盲導犬訓練所
情報文化センター
点字情報技術センター

法人本部 大阪市鶴見区今津中2-4-37
TEL (06)6961-5521 FAX (06)6968-2059
E-mail info@lighthouse.or.jp
URL <http://www.lighthouse.or.jp/>

祝

全国盲学校弁論大会



「点字ブロック」は安全・安心の道しるべ



1967(S42).3.18 敷設第1号

—— 点字ブロックのパイオニア ——



一般財団法人

安全交通試験研究センター

TRAFFIC SAFETY RESEARCH CENTER, INC.

〒700-0024 岡山市北区駅元町15番1号 (リットシティビル 7F)

TEL.086-252-1212(代表) FAX.086-252-1213

<http://www.tsrc.or.jp/>

全国盲学校弁論大会優勝校・優勝者一覧 第1回～45回

第1回(S3年)	大分県立盲啞学校	二宮 義雄	特殊教育の充実と盲人の使命
第2回(4年)	大阪市立盲学校	森田 正一	順風をはらんで神に祈る
第3回(5年)	山口県立下関盲啞学校	渡辺 雅美	開拓者の精神
第4回(6年)	和歌山県立盲啞学校	山根木 正嗣	吾人の誓い
第5回(7年)	東京盲人技術学校	熊谷 善一	光は闇の中に輝く
第6回(8年)	大阪府立盲学校	田村 次郎	うんとやりましょう諸共に
第7回(9年)	熊本県立盲学校	中島 之典	私の信念
第8回(10年)	京都府立盲学校	西崎 清	あきらめの彼方へ
第9回(11年)	和歌山県立盲啞学校	松本 富穂	退いて無名の英雄たれ
第10回(12年)	大阪府立盲学校	丹下 薫	二つの信条
第11回(13年)	新潟県立新潟盲学校	奥住 勇	種を蒔く人
第12回(14年)	東京同愛盲学校	樋口 鶴男	二つの潮流
第13回(15年)	広島県立盲学校	吉沢 茂	世界一の果報者
第14回(16年)	和歌山県立盲啞学校	成田 周三	真実の世界を求めて
第15回(17年)	兵庫県立盲学校	粟井 禮次	武器なき闘い
第16回(18年)	岡山県立盲啞学校	山田 典子	日本の腰を強めましょう
第17回(22年)	奈良県立盲啞学校	西田 和恵	盲女性の要望
第18回(23年)	静岡県立静岡盲学校	井村淳一郎	母性愛にこたえて
第19回(24年)	石川県立盲学校	宮沢 秀明	新しい母
第20回(25年)	愛知県立名古屋盲学校	花井 久子	愛の盲女子ホーム建設
第21回(26年)	京都府立盲学校	白島 庸	点字書籍を増やすには
第22回(27年)	大阪府立盲学校	近藤 敏郎	プライユにこたえて
第23回(28年)	大阪府立盲学校	津野 幸治	偽るなかれ
第24回(29年)	広島県立盲学校	藤正 坂二	平和のともしび
第25回(30年)	大分県立盲学校	中村 茂	存在への勇氣
第26回(31年)	石川県立盲学校	宮村 健二	友情箱
第27回(32年)	大阪府立盲学校	小坂 吉明	小さな革命
第28回(33年)	兵庫県立盲学校	竹本 春子	イソップ物語に学ぶ
第29回(35年)	新潟県立高田盲学校	太刀川 武	平凡なる非凡
第30回(36年)	岡山県立岡山盲学校	佐川 澄子	青い小鳥を自己の手で
第31回(37年)	新潟県立高田盲学校	古川 正雄	信和寮と私
第32回(38年)	新潟県立高田盲学校	信保 明子	小さな勇氣
第33回(39年)	愛知県立豊橋盲学校	水谷 嘉子	友情に生きたい
第34回(40年)	大阪府立盲学校	岩井 和彦	理解されない盲人
第35回(41年)	徳島県立徳島盲学校	松尾 素子	再び歩み始める
第36回(42年)	新潟県立高田盲学校	野沢 信子	盲学校という名に耐えて
第37回(43年)	大阪市立盲学校	亀甲 孝一	点字制定記念日に思う
第38回(44年)	和歌山県立和歌山盲学校	森本 和秀	可能性への挑戦
第39回(45年)	大阪府立盲学校	戸田 繁	奉仕と感謝
第40回(46年)	高知県立盲学校	小松 俊子	ある感動
第41回(47年)	大阪市立盲学校	渡辺 昭一	教育と職業の保障を
第42回(48年)	香川県立盲学校	川田 隆一	希望に燃えて
第43回(49年)	静岡県立浜松盲学校	田中そのめ	夢からの第一歩
第44回(50年)	岩手県立盲学校	佐々木 実	人間復活
第45回(51年)	鹿児島県立鹿児島盲学校	脇園 寿子	前を向いて生きよう

全国盲学校弁論大会優勝校・優勝者一覧 第46回～90回

第46回(52年)	大阪市立盲学校	裕 久修	科学技術時代に思う
第47回(53年)	山口県立盲学校	初井さつき	ペルーから日本へ
第48回(54年)	熊本県立盲学校	山崎 浩三	病気との闘い
第49回(55年)	大阪府立盲学校	田中 康弘	甘えを捨てて
第50回(56年)	愛媛県立松山盲学校	豊田 初江	杖
第51回(57年)	大阪府立盲学校	尾鼻 達朗	あと一步
第52回(58年)	福岡県立福岡盲学校	田端 里美	私の見つけた青い鳥
第53回(59年)	静岡県立浜松盲学校	藤田 寿美	出会いということ
第54回(60年)	三重県立盲学校	平井 正信	今、新しい人生が
第55回(61年)	兵庫県立盲学校	蒲生 明美	はばたく私の青春
第56回(62年)	大阪府立盲学校	小林 一尚	心
第57回(63年)	大阪市立盲学校	山本 真弓	あなたのバーを今少し高く
第58回(H元年)	青森県立盲学校	沢田 彰郎	小さな社会から
第59回(2年)	北海道高等盲学校	渡部 菜子	心から心へ
第60回(3年)	熊本県立盲学校	嶽野 寛子	「看護婦さん」っていいなあ
第61回(4年)	宮城県立盲学校	浅野目 誠	かけがえのない自分を見つめて
第62回(5年)	筑波大学附属盲学校	南沢 創	釣堀とともに
第63回(6年)	福岡県立柳河盲学校	籾内智佳子	日の光 色に見ずとも
第64回(7年)	福井県立盲学校	前田 智洋	未知の世界への挑戦
第65回(8年)	東京都立八王子盲学校	北 葉子	私が好き
第66回(9年)	福岡県立柳河盲学校	原田 淳一	川に流したのも
第67回(10年)	北海道高等盲学校	花尻真由美	ボランティア
第68回(11年)	福岡県立福岡盲学校	井上美由紀	母の涙
第69回(12年)	富山県立盲学校	島崎 真美	コーラス
第70回(13年)	神戸市立盲学校	荒木 温子	ずっと一緒にだよ
第71回(14年)	福岡県立福岡高等盲学校	清水 蔵隆	心のハンディキャップ
第72回(15年)	神戸市立盲学校	荒木 温子	私の表情
第73回(16年)	静岡県立静岡盲学校	守屋 剛	黒電話
第74回(17年)	北海道札幌盲学校	柴田 裕里	犬の耳が欲しい
第75回(18年)	岡山県立岡山盲学校	竹本登久子	悔いのない今日を生きる
第76回(19年)	大阪市立盲学校	三ツ井直樹	働く喜び 実らせて
第77回(20年)	福島県立盲学校	鈴木 祐花	踏み出す
第78回(21年)	筑波大学附属視覚特別支援学校	ファン・バン・ソン	僕に続く後輩たちのために
第79回(22年)	奈良県立盲学校	川添 愛	空へ
第80回(23年)	和歌山県立和歌山盲学校	中 麻	世界にひとつの宝物
第81回(24年)	愛媛県立松山盲学校	富永 広幸	私と家族
第82回(25年)	茨城県立盲学校	山口 凌河	笑顔
第83回(26年)	福岡県立福岡高等視覚特別支援学校	柿野 明里	守りたい
第84回(27年)	福島県立盲学校	渡邊 健	光り輝くあの月へ
第85回(28年)	福井県立盲学校	松田 えりか	私は回遊魚
第86回(29年)	静岡県立浜松視覚特別支援学校	望月 達哉	Ame(あめ)
第87回(30年)	大阪府立大阪南視覚支援学校	阿部 亮介	視覚障がい者だから
第88回(R元年)	福島県立視覚支援学校	常松 桜	シロウサギ
第89回(3年)	岐阜県立岐阜盲学校	古田 桃香	一歩ずつ前へ
第90回(4年)	神戸市立盲学校	浅井 花音	母が教えてくれたこと